

様式1

平成31年度 学校図書館を活用した「読み」を鍛える拠点校事業 実施計画書

1. 学校の概要

ふりがな	こうなんしりつあかおかしょうがっこう				ふりがな	らい せつこ			
学校名	香南市立赤岡小学校				校長名	来 節子			
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
児童数等	16	22	9	27	15	10			
生徒数等	特別支援学級	計		教員数	ふりがな	なかがわ まみ			
	7	児童/生徒数	学級数	17	推進教諭名	中川 真身			
		106	11						

2. 研究主題

こころとこころをつなぐ力を育てる  
 一言語活動の充実を通して「読み」の力を育む授業づくりに向けて—

3. 研究主題設定の理由

本校ではこれまで、「言葉の力育成プロジェクト推進事業」, 「探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業」などの指定事業を受け, 学校図書館を活用した授業づくりに取り組んできている。その中で図書館資料を活用するための学び方指導を継続的に行ったり, 授業で活用しやすい図書館づくりを行ったりし, 児童の情報活用能力の向上を図ってきた。さらに, 昨年度より「学校図書館を活用した『読み』を鍛える拠点校事業」の指定を受け, 主に言語活動のゴールモデルを作り教材研究を行うことにより, 国語科の授業改善に努め, 児童の読解力の向上を図ってきた。

その成果として, 学校評価アンケート(児童)の「授業はよくわかる」「国語の勉強は好きだ」の項目について肯定的評価が85%以上, 「本を読むことが好きだ」の項目について肯定的評価が80%以上となった。また, 平成30年度全国学力・学習状況調査においても, A問題, B問題ともに無回答はほとんどなかった。

しかしながら, 同調査では国語A及び国語Bの「読むこと」の領域において全国・県平均を大きく下回る結果となり, 複数の資料の中から目的に応じて必要な情報を選択し内容を捉えることに課題が見られる。この読解力の弱さは他教科の学力にも影響しており, 複数の情報を「読む」力の強化に向けてさらなる重点的な取組を行う必要があると考えられる。

また, 前年度の授業力チェックシート(教師)の「児童生徒の知識や考えを広げたり, 深めたりするために, 図書館資料や新聞等を効果的に活用している。」の項目では, 年度末におけるポイントが2.9に留まり, 教師が図書館資料を十分に活用することができていないという課題がある。

これらのことから, 言語活動のモデルづくりを中心とした国語科の授業改善を継続しつつ, これまで行ってきた図書館教育の学び方指導と単元の一体化を図り, 言語能力・情報活用能力を高めることを目指すためこのテーマを設定した。

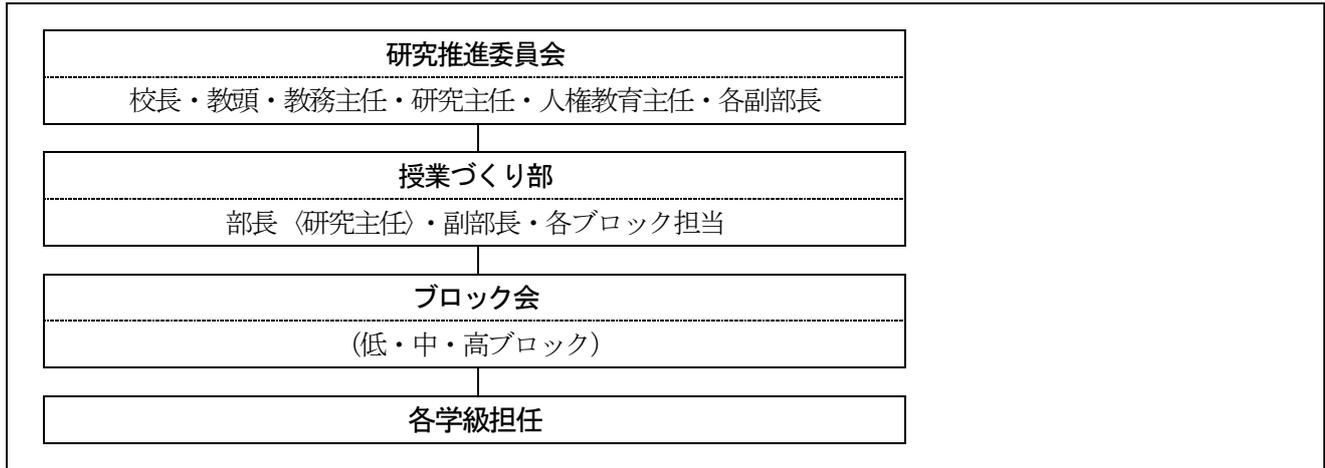
## 4. 研究仮説

- ・ 授業者が、言語活動のモデルづくりを行ったうえで教材研究や単元計画表を作成することにより、目指すゴールに向かうために必要な指導や考えられる児童のつまづきを見通すことができ、指導力の向上につながるのではないかと。
- ・ 各単元で付けたい力を具体的な児童の姿でイメージし、それに応じた言語活動を設定することで、児童に学習意欲や目的意識を持たせることができ、読解力が向上するのではないかと。
- ・ 図書館教育の学び方指導と各教科等の単元との関連が分かるカリキュラム配列表や、学校図書館活用計画をもとに実践を重ねることで、児童の情報活用能力の向上を図ることができるのではないかと。

## 5. 方法及び内容

1. 「読み」の力を高めるための国語科の授業改善
  - ・ 全学年での国語科公開授業及び研究協議（うち3学年は研究発表会の際に公開）
  - ・ 言語活動のモデルづくりによる教材研究
  - ・ 単元計画表の作成
  - ・ 児童の思考を深めるための発問の検討
2. 学校図書館を活用した各教科等の実践
  - ・ カリキュラム配列表や年間計画表に基づく実践（単元と学び方指導の一体化）
  - ・ パスファインダーの作成と活用
  - ・ 図書館活用のための教職員研修の実施
  - ・ 朝読書や読み聞かせ（教職員・地域・家庭）などの継続
3. 新聞の活用
  - ・ 授業での新聞活用
  - ・ 学校新聞づくりコンクールへの取組
  - ・ 新聞ノートを使った朝の会での新聞スピーチ
4. 特別支援教育の視点を取り入れた「読み」の力の向上を目指す取組
  - ・ 多層指導モデルMIMの活用（低学年）
  - ・ 全校での音読タイム
5. 読み取ったことを文章で表現する学習活動の充実
  - ・ 短作文（昼の学習）タイムの取組
  - ・ 読書感想文コンクールへの取組
  - ・ 朝読書タイムの感想記録

## 6. 研究体制



## 7. 検証

達成目標	指標	時期
○ 全国学力・学習状況調査で全国・県平均を3ポイント以上上回る。	・ 全国学力・学習状況調査	4月
○ 高知県学力定着状況調査で県平均に近づける。	・ 高知県学力定着状況調査	12月
○ 学校教育診断アンケートで「授業が楽しい」「国語が好きだ」について90%以上にする。	・ 学校教育診断アンケート	12月
○ 授業力チェックシート（教師用） 指導技術9「児童生徒の知識や考えを広げたり、深めたりするために、図書館資料や新聞等を効果的に活用している。」の項目において肯定的評価を80%以上にする。	・ 授業力チェックシート	5月・12月
○ 授業力チェックシート（児童用） 指導技術7「図書館の本や新聞などを使って調べたり話し合ったりする学習を行うことができた。」の項目において肯定的評価を80%以上にする。	・ 授業力チェックシート	5月・12月
○ 学校診断アンケートにおいて「本を読むことが好きだ」の肯定的評価を90%以上にする。	・ 学校教育診断アンケート	12月
○ 学校新聞づくりコンクールへ応募し、成果をあげる。	・ 学校新聞づくりコンクール	10月
○ 読書感想文コンクールに応募し、成果をあげる。	・ 読書感想文コンクール	10月
○ 岡本彌太文学賞に応募し、成果をあげる。	・ 岡本彌太文学賞	10月
○ 読書感想画コンクールに応募し、成果をあげる。	・ 読書感想画コンクール	1月
○ 高知県こども詩集「やまもも」に応募し、成果をあげる。	・ 「やまもも」作品募集	1月

## 8. 成果普及の方法

普及内容	方法	時期
○ 学校だよりや図書館だよりで広報する。	・ 毎月発行	毎月末
○ 常に学校を公開するとともに、全ての研究授業を広く案内する。	・ 研究授業の公開及び毎日の学校開放	研究授業及び毎日の授業
○ 実践事例等を紹介する。	・ HPへの掲載及び研究集録の配付	研究授業実施後、及び年度末
○ 積極的に研修会等へ参加する。	・ いろいろな研修会や連絡会等で報告する。	研修会参加 (11月香南市教研)
○ 他校との研修交流を積極的に実施する。	・ 授業公開、授業参観等	研究授業時等
○ メディアを活用した報告をする。	・ 新聞・テレビ・広報等で広める。	研究授業時等

## 9. 年間事業計画

	校内研修等	公開授業・研究発表会 ※校外に案内する会	校外研修・視察等
4月	2日(火) ・ 指定事業に関する説明 8日(月) ・ 学校図書館活用に関する説明 15日(月) ・ 国語科の授業に関する研修		11日(木) ・ 県SLA学校図書館担当者会 ・ 連絡協議会
5月	未定 ・ 指導案検討(5年・国語) 未定 ・ 全国学力・学習状況調査の自校採点、分析		14日(火) ・ SLA研修会 ・ 蓮池小教材研究会 17日(金) ・ 鏡野中教材研究会 23日(木) ・ SLA研修会、総会
6月		未定 ・ 公開授業研究会(5年・国語) 講師：東部教育事務所指導主事	19日(水) ・ 蓮池小授業研究会 21日(金) ・ SLA研修会 ・ 鏡野中授業研究会
7月	未定 ・ 学校図書館活用に関する研修 未定 ・ 1学期の取組状況の検証 ・ 第1回授業力チェックシートの分析		

8月	未定 ・指導案検討（2，3年・国語） 未定 ・国語科の授業づくりに関する研修 未定 ・標準学力調査の分析と手立ての研修 ・全国学力・学力状況調査の再度分析		
9月	未定 ・2学期の取組について		24日（火） ・SLA研修会 ・鏡野中教材研究会 27日（金） ・蓮池小教材研究会
10月	未定 ・指導案検討（1，4年） 未定 ・指導案検討（6年）	未定 ・公開授業研究会（2年・国語） 講師：東部教育事務所指導主事	
11月		未定 ・公開授業研究会（3年・国語） 講師：東部教育事務所指導主事	5日（火） ・鏡野中授業研究会 8日（金） ・SLA研修会 ・蓮池小授業研究会
12月	未定 ・2学期の取組状況の検証 ・第2回授業力チェックシートの分析		
1月		24日（金） ・研究発表会 【公開授業：1，4，6年・国語】 講師：高知大学教育学部附属小学校 田中元康先生 東部教育事務所指導主事	
2月	未定 ・高知県学力定着状況調査の分析		
3月	・1年間の取組の成果と課題・来年度の年間計画		